

R4-11 日常の学びと災害時の避難行動を結び付けた「一日防災学校」

- 管内 石狩管内
- 分類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他（ ）
- 教育課程 教科（保健体育科・地歴公民科）
道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低）小学校（中）小学校（高）中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 1 日常の学びと災害時の避難行動を結び付けた「一日防災学校」の実施
- 2 避難を想定した体験的な学習など、知識と避難時の行動を結び付ける工夫

■取組の実際

ねらい

- 複数の教科での学びを災害時の避難行動と結び付けることにより、災害時に命を守るための行動を主体的に考え、実践できる態度を育成する。

内容

- 1 教科による防災関連授業（「一日防災学校」の午前中に生徒が学んだ内容）
 - (1) 1学年・2学年「保健」～防災対策
防災に関する知識と応急手当の意義を学んだほか、防災協会の指導員による実践的な応急手当の実技指導を実施した。
 - (2) 1学年「地理総合」～火山災害と防災
ハザードマップなどを活用し、火山災害を題材に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応の重要性等について多面的・多角的に考察した。
 - (3) 3学年「政治・経済」～防災対策について
札幌市や地区センターが発行する防災マップなどの資料を活用し、安心・安全な地域づくりへの参画や防災関係制度に関する知識を身に付け、防災対策の充実や地域課題等について理解を深めた。
- 2 災害時の新型コロナウイルス感染症対策について
各学級において、自然災害を想定して食料等を備蓄しておくことの重要性について学んだほか、災害時においてもマスク着用やアルコール消毒など感染症対策が必要であることについて指導した。
- 3 「一日防災学校」と連動した避難訓練
午前中の教科による防災関連授業をとおして、生徒が防災避難行動への意識を高めた上で、午後に避難訓練を実施した。生徒が整然と避難行動を行う姿からは、「一日防災学校」の諸事業等の成果が見て取られ、例年以上に緊張感のある避難訓練となった。



成果と課題

- 「一日防災学校」をとおして、生徒は授業を受けることで、教職員は本事業の準備や運営をすることで災害を自分事として捉えることができ、学校全体の防災意識が高まったほか、保護者にも成果を共有し、感想をいただくことができた。
- 避難訓練における消防署と連携した取組は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から当日実施ができなかったが、専門家による講演や助言の必要性を感じた。